

< 行動計画作成例 >

社 平成19年度環境行動計画

1. 現状の取組みに対する評価・課題及び目標

項目	現状に対する評価・課題	目標
環境保全のための仕組み・体制の整備	環境方針、推進体制はレベル2までの取組みができているが、従業員に対する環境教育がレベル2の取組みが不十分である。	環境教育の定期的な実施
エコドライブの実施	アイドリングストップの励行についてはレベル2の取組みができているが、その他の項目はレベル2までの取組みが達成されていない。給油ごとに燃費実績が把握できていない。	18年度実績に対して3%燃費向上 給油ごとに燃費実績を把握し、燃費意識向上を図る エコドライブ実技講習実施率を5割以上とする
低公害車の導入	低公害車の導入は進んでいないが、大型車が多く導入は難しい。 代替を目標通り実施し、新長期規制車の導入率は20%となった。	平成22年度までに新長期規制車両を50%
自動車の点検・整備	概ね各項目ともレベル2の取組みは実施しているが、各基準の見直しには至っていない。	タイヤ空気圧の点検期間の見直し
廃棄物の適正処理およびリサイクルの推進	廃棄物の適正管理は実施しているが、廃梱包材の排出抑制について目標設定していない。	ラップ使用量5%削減
管理部門(事務所)における環境保全の推進	従業員への教育は実施しているが、エネルギー使用量、廃棄物排出量を把握しておらず、削減の目標を設定していない。	事務所でのエネルギー使用量、廃棄物排出量の把握

2. 具体的な取組み内容

項目	取組み項目 (何を)	目標 (どの程度)	方策 (どのように)	責任者 (誰が)	達成時期 (いつまでに)
環境保全のための仕組み・体制の整備	環境意識の向上を図るため、環境方針の徹底や環境に関する一般的な情報の伝達等を定期的に行っている	3ヶ月に一度教育を実施する	エコモ財団からの情報と新聞などを掲示する。また、1年に一度エコミーティングの議題とする。	環境保全推進者、各班エコリーダー	掲示教育6月～ ミーティング10月までに実施
エコドライブの実施	走行距離及び燃費の使用状況について、会社として把握している	全車両、給油時に燃費を把握できるようにする	ドライバーに燃費管理表に給油毎に燃費を記入させ、正確な燃費を把握する。	エコドライブ推進責任者、班長	6月までに完全実施
	エコドライブ講習会や社内の実技講習会に、5割以上のドライバーが参加している	実技講習会受講割合5割に	年4回講習会に派遣(1回3名)	エコドライブ推進責任者	5月、7月、9月、2月
	エコドライブを推進するための装置を導入するための計画を作り、計画に沿って実施している	エアヒーター導入5台	A作業グループ大型車に導入。今後の導入計画も立案。	部長	機器検討:9月まで 計画:11月まで
低公害車の導入	最新規制適合ディーゼル車の導入について計画を策定し、目標達成に向けて導入に取り組んでいる	新長期規制対応車導入率25%	代替3台	部長	3月まで
自動車の点検・整備	タイヤの空気圧の点検・調整は、独自の点検期間を設定し、空気圧の測定をもとに実施している	全車	空気圧チェック時にどれだけ減っていたかを調査し、チェック期間の見直しを検討	ドライバー、整備管理者	調査:上期 検討:11月まで 見直し:1月～
廃棄物の適正処理およびリサイクルの推進	廃梱包材の排出抑制(例:再利用可能な梱包材の利用など)について、目標を設定している	5%削減	ラップ利用を見直しバンドに変更するものを増やす	作業課長、ドライバー	検討:7月まで 導入試験9月まで 実施:10月～
管理部門(事務所)における環境保全の推進	事務所内でのエネルギー使用量、廃棄物排出量の削減について、目標を設定している	エネルギー使用量、廃棄物排出量実績把握	エネルギー使用量、廃棄物排出量実績表に毎月記入し実績を把握する	管理係長	4～3月まで